



“Program Update”

飛行試験の状況～自然着氷試験～

三菱航空機はこのほど、自然着氷試験を、シカゴ・ロックフォード国際空港（イリノイ州ロックフォード）を拠点に実施しました。MRJ がワシントン州モーゼスレイク以外の米国拠点で試験を実施するのは今回が初めてとなります。

モーゼスレイク・フライトテスト・センターで先行実施した模擬試験をベースに、当地ロックフォードで、恵まれた自然条件のもと専用の飛行試験装置を使用し、機体の着氷状況および機体への着氷を防ぐシステムの性能分析に必要なデータを取得しました。

今後は、フロリダ州エグリン空軍基地のマッキンリー極限気候研究所に向かい、当地にて通常運航時に想定される極寒・酷暑の気象条件下での試験を実施する予定です。



シカゴ・ロックフォード国際空港へ飛び立つ4号機

Moses Lake Flight Test Center から

現地は、チーム一丸となって作業を進めています。



モーゼスレイク・フライトテスト・センターでの集合写真



“Hot Topic”

より高度なチームワークの追求

外国人エンジニアの増員により、三菱航空機は、多様な国籍・文化・背景を持つ社員がお互いを理解し、円滑なコミュニケーションがとれる職場環境の醸成に向けた様々な施策を行っています。

2/14 には、日本式リーダーシップ研修を実施。約 20 人の外国人エキスパートが参加する中、リーダーシップについての意見交換や日本型マネジメントの基礎演習などを行いました。また、異文化間コミュニケーション研修も定期的を実施しており、日本と外国の文化の違いや異文化間コミュニケーションの手法を習得した上で、実際に想定されるビジネスシーンのケーススタディを通じ、効果的なコミュニケーションの理解促進を図っています。研修の参加者からは、「業務で必要なスキルのトレーニングとなった」、「マネジメントアプローチの違いについて良い視点が養えた」などの声もあり、開発力を一層強化するための環境づくりに貢献する内容となっています。

今後も、より高度なチームワークを発揮できるような風土を築くため、様々な施策を執り行っています。



研修および会議風景